

音声呼出電話機（有極型） 活用事例

音声呼出電話機の有極型を使用することで同一回線上の音声呼出電話機を呼び分けて利用できます。

取扱い例

1. 親機→子機の一斉呼出/通話ができます

子機で呼出釦（本体）を押下している間、子機①～④の電話機が着信し、ブザー音が鳴動します。

2. 子機だけ一斉呼出/通話ができます

いずれかの子機にて呼出釦（ハンドセット）を押下している間、他の全子機が着信し、ブザー音が鳴動します。

この時、音声呼出電話機 親機は着信しません。

3. 子機→親機の呼出/通話

呼出釦（本体）を押下している間、音声呼出電話機 親機が着信し、ブザー音が鳴動します。

この時、子機①～④の電話機着信しません。

※構成機器例） DP14-SAT

凡例

